



宇治十帖の古跡を巡る

お茶と源氏物語の宇治散策 ご案内

担当 6班

藤原道長の娘彰子に仕えていた紫式部が、「源氏物語」を書いたのは、平安時代の半ばの1000年ころであったと言われています。千年の時の流れを超えて、往時を偲ばせる宇治川の周辺には物語ゆかりの古跡があり、訪れる人を遠く平安文学の世界へと誘ってくれます。(宇治市HPを参考)

今回の宇治散策ではお茶と宇治の歴史・文化、NHK大河ドラマ展の見学、本殿が国宝の宇治上神社、国宝・鳳凰堂のある平等院などを巡りたいと思います。宇治公園や平等院の紅葉を楽しみながら紫式部と心を通わせるような一日にしたいと思います。

【実施日】2024年11月29日(金) 雨天 降水確率50%以上で中止

【集合】京阪宇治駅前10時20分

【行程】京阪宇治駅(10:30出発) → お茶と宇治のまち歴史公園(・茶づなミュージアムと・NHK光る君へ大河ドラマ展を見学)(10:40~12:00まで)

昼食・班長会(12:00~12:40) → 宇治神社参拝(13:00~13:15) → 宇治上神社(13:15~13:30) 朝霧橋・源氏物語レクチャー(13:30~13:40) → 浮島十三重塔・喜撰橋(14:10) → 平等院(14:20)

*入場後、鳳凰堂前で記念写真(14:30)

*ここで解散とし、各自寺院内の見どころを自由に拝観して帰路へ

【参加費】700円(・茶づなミュージアム480円・大河ドラマ展入場料400円・平等院600円 計1,480円、いずれも団体割引料金 そら組負担780円) 各班11/22までに6班福山副班長に渡してください

【持ち物】弁当 飲物 雨具 敷物 等

【グループ】Aグループ(1、2、3班+6班) Bグループ(4、5班+6班) 参加人数により変更

【参加者数報告】各班長さんは参加者数を11/15までに6班田中班長まで連絡ください

■源氏物語ゆかりの古跡(1) 宇治上神社

宇治十帖に登場する大君・中君姉妹の父は光源氏の異母弟八の宮です。宇治上神社の祭神は、応神天皇・仁徳天皇・菟道稚郎子(うじのわきいらつこ)の三柱ですが、**八の宮はこの菟道稚郎子をモチーフにしている**と言われています。

また菟道稚郎子は応神天皇の皇子であり文教の始祖で宇治神社の祭神として古来より崇拝を集めています。



神社建築としては現存最古



阿字池に浮かぶ鳳凰堂

■源氏物語ゆかりの古跡(2) 平等院

光源氏のモデルとされる源融(みなもとのとおる)から時代を経て藤原道長の別荘となったこの地を道長の息子・頼道によって寺に改められたのが平等院の始まりです。

当時の貴族たちが希求した極楽浄土を再現したと言われています。また紫式部の父・藤原為時は頼道の叔父にあたり、幼少の頃より平等院に親近感があったと考えられています。